



武豊町議会議員

文教厚生委員会委員、議会だより特別委員会委員長、常武衛生組合議会議員、中部知多衛生組合議会議員、武豊町社会福祉協議会顧問

豊かな論戦力で 議会をリード かじた 梶田みものる

日本共産党

いあごわし

7期28年、みなさまのあたたかいご支援によって、町政の刷新と住民要求実現のために邁進してきました。国民に「痛み」を押しつけ、大企業には減税の大盤振る舞い。こんな政治では、若者に未来への希望を持たなくし、くらしも福祉も守ることはできないのではないでしょうか。

就職難、倒産・失業問題、少子・高齢化問題など、地方政治を町民の生活を守る防波堤にしなければなりません。

私は、みなさんの声を町政と議会に届け、その解決策を示して当局を動かし、議会をリードしてきました。引き続き、ご支援をよろしくお願いいたします。

私のプロフィール

- 1939年 (昭14) 生まれ 72歳
- 1954年 常滑市立小鈴谷中学校 (現南陵中学校) 卒業後、日本油脂 (株) 入社。働きながら、半田高校武豊分校 (夜間定時制、現武豊高校)、名古屋工業大学短期大学部工業化学科 (夜間) を卒業。
- 1961年 学友とともに安保闘争をたたかい、卒業と同時に日本油脂労組武豊支部青年婦人部長に推され、同労組青年婦人部協議会議長、名古屋分会長など歴任。このたたかいの中で、一貫して、平和と働くものの暮らし・権利を守って奮闘してきた日本共産党へ入党。
- 1970年以降 武豊小、武豊中PTA役員、武豊高校同窓会役員を歴任。
- 1973年 「明るい革新町政をつくる会」の結成に参加し、山本革新町長誕生に貢献。
- 1983年 中村章八先生の後を受け継ぎ、町議会議員に初当選。この間、決算特別委員長、総合計画特別委員長などの要職を歴任し、住民要求実現と町政の刷新に全力を挙げてきました。現在、7期目。
- 2002年 県立内海高校非常勤教師 (弓道指導) の委嘱を受け、現在に至る。
- 2005年 町議会副議長に推されて就任。また、常滑武豊衛生組合議会副議長、中部知多衛生組合議会議員、同監査委員に就任。
- 2005年 日本福祉大学 (通信教育部) 3年次に編入学。大きく変動する福祉・介護制度等について学び、2007年3月卒業。

* * * * *

モットー 誕生日は2月12日。第16代アメリカ大統領リンカーンと同じ日。「人民の、人民による、人民のための政治」は、「住民こそ主人公」を貫いて活動してきた私の思いと共通。

家族 二人の娘は嫁ぎ、現在は妻と二人暮らし。
趣味 弓道 (錬士五段)、囲碁 (日本棋院四段)、写真 (写真集『徳本流名号碑考』1978年刊)、テニス、登山、パソコン、漢字検定準1級。

現住所 武豊町字多賀6丁目33番地1
電話/FAX 72-3055
URL <http://www.kajita-m.jp>
e-mail minoru@kajita-m.jp

